

そっけん
息軒だより
三計の教え



令和6年度2・3月号(第48号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 徳村光郎 館長 川口眞弘
〒889-1605

宮崎市清武町加納甲3378-1

TEL 0985-84-0234

FAX 0985-84-2634

e-mail sokken.yasui@pic.bbq.jp

<https://yasuisokken.jp>

あした
一日の計は朝にあり

一年の計は春にあり

しょうそう
一生の計は少壮の時にあり



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

令和6年度 安井息軒記念館冬の企画展開始



2025年1月12日より「令和6年度宮崎市安井息軒記念館冬の企画展 無所属新人安井息軒 一安井息軒の政策論一」がスタートしました。今回は息軒が現代の選挙に立候補したらというテーマで、息軒の政策論を取り上げています。

企画展示室は選挙事務所をモチーフに設営し、テレビで政見放送を流して、選挙の雰囲気が出るようにしました。文章量が大変多い企画展となっていますが、ご来館の皆様がじっくり読んでくださり、ありがたい限りです。マスコミでも紹介され、話題になっています。3月23日(日)までの企画展です。皆様のご来場をお待ちしております。(文責 久保田)



第7回 安井息軒記念館講座

12月21日(土)、第7回安井息軒記念館座「西南戦争で西郷軍に参加した飢肥隊2」を開催しました。講師は日南市文化財専門担当官、長友禎治氏です。長友先生には9月21日に行われた第2回記念館講座の続きを行っていただきました。今回も第2回目と同様、Q&A方式で講座を行いました。

前回は進行の不備により、内容の半分ほどしか話していただけではありませんでしたが、今回の講座では西南戦争で小倉処平が合流した後の飢肥隊の動向を中心に話していただきました。小倉処平は息軒の弟子の一人でした。息軒の弟子は数多く、明治維新後に辿った道も様々でした。処平も当初は政府の官人として活躍していましたが、職を辞して西南戦争で西郷軍に参戦し、命を落としています。ちなみに処平は小村寿太郎を見出し、大成へと導いた人物でもあります。処平の他にも戦場の露と消えた弟子たちが多数います。そうした弟子たちのことを、息軒がどう思っていたのか考えさせられます。(文責 久保田)



第8回 安井息軒記念館講座

2025年2月8日に第8回安井息軒記念館講座「無所属新人安井息軒—安井息軒の政策論—」を開催しました。講師は前学芸員で現宮崎大学特別准教授青山大介氏をメインに館長、学芸員が分担を決めて実施しました。今回の講座は、本年度冬の企画展と関連付けて、その解説をねらいとして実施したものでした。難解な内容であるため、わかりやすく解説するために寸劇を取り入れて講座を行いました。寸劇には本企画展の政見放送にご出演頂いた湯地宏光様にもご登壇いただきました。当日は満席状態で、受講いただいた皆様から好評をいただきました。湯地様、受講いただいた皆様ありがとうございました。(文責 久保田)



🌸 呈茶の催し、今年も好評でした 🍵

今年も茶道団体のご協力で、恒例の呈茶を2月1日から9日まで実施しました。初日はあいにくの雨、週明けからは今年一番の寒波で、来館の足が遠くではと危惧しましたが、心配をよそに連日正午過ぎから窓口受け付けは混雑。1時間ほどであっという間に先着30名に達してしまう日もあるという盛況ぶりでした。当然待ち時間が長くなるのですが、開催中の冬の企画展をじっくり見学していただき、息軒の政見放送にも耳を傾けておられる方もいました。

今年は梅の開花が遅く、梅花を愛でながらのお茶というわけにはいきませんでした。来館者には安らぎのひと時としてとても好評でした。ご協力いただいた茶道団体の皆様に深謝いたします。(文責 長野)



文化財防火デーに伴う防火訓練実施

例年1月26日は全国文化財防火デーです。その起源は昭和24年までさかのぼります。それはこの年の同日、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺の金堂が炎上し、壁面が損傷したことから、二度とこのような事態を招かないようにということで制定されました。

安井息軒旧宅は偉人の生家としては県内でただ一つだけの国指定史跡です。この大切な史跡を守るべく、今年も宮崎南消防署や地元消防団、記念館、顕彰会が連携して防火訓練を実施しました。オブザーバーとして、上中野の記念館周辺に居住しておられる地域の皆さまにも、事前通知をし、見学を呼びかけました。その結果、約50名の皆様にご参加いただきました。

旧宅の見回りをしていた職員が旧宅西側から火の手が上がっているのを発見し、来館者の避難誘導、消防への通報や消火器を使っての一次消火を経て、備え付けの消防ホースを使っての二次消火実施中に地元消防団、宮崎南消防署がかけつけて、鎮火したという想定で実施しました。昨年度はコロナ禍を経ての久々の訓練ということもあり手間取った場面もありましたが、今年はおおむねスムーズに実施することができました。

近年日向灘沖地震や南海トラフ地震の発生も取り沙汰されています。さらに訓練を重ねて、大切な文化財やお客様の命を守ることができるように、職員の資質や能力をさらに高めていきたいと思っております。（文責 川口）



ご来館ありがとうございました ✨

12月13日 日南市南郷自治会 の皆様



12月17日 加納小学校第4学年 158名



12月27日 アイロード日本遺産探訪 小学生バージョン





宮崎ケーブルテレビ「博物館の歩き方」の取材を受けました ✨🌈

宮崎ケーブルテレビは「博物館の歩き方」というシリーズを放映しています。その取材を受けました。同ケーブルテレビで2月中旬から約一か月にわたり、毎日2回ずつ放映予定です。よろしければぜひご覧ください。



息軒ウォークを開催します 🌈

今年も息軒ウォークを開催します。今年は伊東祐堯や稲津掃部之介の墓などのある清武城址・船引神社周辺の史跡を巡ります。詳細は下記のとおりです。早春の自然を感じながら、さああなたもぜひご応募ください。



- | | |
|--------|-------------------------|
| 1 日時 | 3月2日(日) 9:30 ~ 12:00 |
| 2 集合 | 宮崎市立加納小学校西口駐車場 受付9:00 ~ |
| 3 参加費 | 無料 |
| 4 応募締切 | 2月26日(水) 小雨決行 |
| 5 応募方法 | Tel、Fax、メール、葉書き 一面上段参照 |
| 6 持参品 | マスク、水筒、筆記用具、ウォーキング用の服装 |
| 7 留意点 | 約5キロで傾斜がきついです |
| 8 定員 | 30名 |

没後の息軒と佐代は 🌸

息軒よりも一回り年下でかしこくやさしくそして美しかった佐代は、文久2年(1862)50歳で亡くなり、高輪の東禅寺に埋葬されました。同年息軒は将軍家茂に謁見し、12月昌平坂学問所の儒官(教授)になりました。



息軒は明治9年(1876)9月77才で亡くなり、文京区千駄木の養源寺に埋葬されました。その距離は皇居をはさんで江戸(東京)市の中の南と北、約13キロ、歩くと約3時間かかります。

その二人は今、安井息軒記念館北側の庭園で息軒は安井息軒廟に眠り、そしてそのすぐ近くには佐代夫人の供養塔があり、息軒に寄り添い、愛の文字で結ばれています。

(文責 川口)

